

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 : NKK07 シロ
整理番号 : SKMA2008-33
会社名 : 昭和化成工業株式会社
住所 : 埼玉県羽生市小松台 1-603-29
作成部門 : 技術開発部
連絡先 : 昭和化成工業株式会社 サービス部 東日本支店
東京都北区赤羽南 1-9-11 赤羽南ビル 4F
TEL 03-3598-9251 FAX 03-3598-9631
昭和化成工業株式会社 サービス部 西日本支店
大阪府大阪市淀川区西中島 4-3-8 新大阪神ビル 10F
TEL 06-6307-2727 FAX 06-6307-2748
昭和化成工業株式会社 サービス部 北陸支店
福井県福井市日之出 1-29-1 KIMURA ビル 4F
TEL 0776-27-2341 FAX 0776-27-2349

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-------|------------------------|---------------------------|
| 健康有害性 | 発がん性 | 区分 1B |
| | 生殖毒性 | 区分 1A |
| | 生殖毒性(授乳に対する又は授乳を介した影響) | 追加区分 |
| | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分 2(血液系, 神経系, 腎臓, 消化器系) |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分 2(血液系, 神経系, 腎臓, 心臓血管系) |
| 環境有害性 | 水生環境有害性(急性) | 区分 3 |

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

絵表示



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ

臓器の障害のおそれ（血液系、神経系、腎臓、消化器系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（血液系、神経系、腎臓、心臓血管系）
水生生物に有害

注意書き

安全対策

- : 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

- : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

保管

- : 施錠して保管すること。

廃棄

- : 廃棄する際には、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処分すること。

3. 組成及び成分情報

製品情報

- : 混合物

| 名前 | 濃度 (%) | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|--------------------------|---------|-------------------|--------|------------|
| | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| ポリ塩化ビニル | - | (6)-66 | 既存化学物質 | 9002-86-2 |
| ステアリン酸鉛 | 1.6 | (2)-615 | 既存化学物質 | 1072-35-1 |
| 三塩基性硫酸鉛 | 1.6 | (1)-428, (1)-532 | 既存化学物質 | 12202-17-4 |
| フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP) | 0.38 | (3)-1307 | 既存化学物質 | 117-81-7 |
| 酸化チタン (I V) | 0.1-1.0 | (1)-558, (5)-5225 | 既存化学物質 | 13463-67-7 |
| 炭酸カルシウム | - | (1)-122 | - | 471-34-1 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

- : 鼻をかみ、うがいをし、口と喉を水で洗浄する。
- 空気の清浄な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

- : 石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。溶解したコンパウンドに皮膚が接触した場合は、すばやく水で冷やすなど、通常のやけどと同様に措置する。

- 眼に入った場合 : 水で数分注意深く洗い、場合によっては医師の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 直ちに吐かせ、咳、呼吸困難などの症状が続くときは医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消火する。
 延焼の恐れがないように散水して周囲のタンク、建物等の冷却に努める。
 適した消火剤 : 散水、ドライケミカル、泡、二酸化炭素系。
 その他の情報 : 燃焼すると刺激性のガスが発生する。
 ガスの主成分は HCl, CO, CO2 である。

6. 漏出時の措置

- 人体に関する注意事項 : 道路や床にこぼした場合、転倒の恐れがあるので集めて処分する。
 環境に対する注意事項 : 漏出したものは速やかに全量回収する。
 回収、除去方法 : 飛散したものをかき集め、密封できるから容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 機械加工、粉砕などで発生する粉塵は、静電気やスパークなどで粉塵爆発を起こすことがあるので、堆積しないように製造を心がける。
 局所排気・全体換気 : 排気設備内又は換気の良い場所で取り扱う。
 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護具を着用する。
 高温加工中に空气中に解放される部分での発生ガスの吸入を防ぐため、有機溶剤用防毒マスクを着用する。取扱後は石鹼を用いて手洗い、洗眼を行う。みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。

保管

- 保管場所 : 防湿に注意し、直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
 熱源から離して保管し、保管場所でみだりに火気を使用してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

| ポリ塩化ビニル (9002-86-2) | | | |
|--------------------------------------|--------------|---|--|
| 日本 | 許容濃度 (ACGIH) | TWA 1 mg/m ³ (R), STEL - | |
| ステアリン酸鉛 (1072-35-1) | | | |
| 日本 | 管理濃度 | 0.05mg/m ³ (Pb として) | |
| 日本 | 許容濃度 (産衛学会) | 0.03mg/m ³ (Pb として、アルキル鉛化合物を除く) | |
| 三塩基性硫酸鉛 (12202-17-4) | | | |
| 日本 | 管理濃度 | 0.05mg/m ³ (Pb として) | |
| 日本 | 許容濃度 (産衛学会) | 0.03mg/m ³ (Pb として、アルキル鉛化合物を除く) | |
| 日本 | 許容濃度 (ACGIH) | TWA 0.05 mg/m ³ , STEL - (as Pb) | |
| フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP) (117-81-7) | | | |
| 日本 | 許容濃度 (産衛学会) | 5mg/m ³ | |
| 日本 | 許容濃度 (ACGIH) | TWA 5 mg/m ³ , STEL - | |

| 酸化チタン (I V) (13463-67-7) | | | |
|--------------------------|-------------|---|--|
| 日本 | 許容濃度(産衛学会) | 0.3mg/m ³ ; 【粉塵許容濃度】 (第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³ | |
| 日本 | 許容濃度(ACGIH) | TWA 10 mg/m ³ , STEL - | |

- 設備対策 : 飛散しやすい場所には、防塵装置付き局所換気装置の設置が望ましい。
- 手の保護具 : ビニールまたはゴム手袋。
- 眼の保護具 : 防塵眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護靴。
- 呼吸用保護具 : 作業時には防塵マスク、火災時には空気呼吸器。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 固体
- 外観 : ペレット状
- 臭い : 軽い特有の臭い
- 融点 : データなし
- 沸点 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発限界 上限 : データなし
- 爆発限界 下限 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水に溶解しない
- オクタノール/水分配係数 (n-オクタノール/水分配係数) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子サイズ : データなし
- 粒径分布 : データなし
- 粒子形状 : データなし
- 粒子アスペクト比 : データなし
- 粒子比表面積 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 一般的な貯蔵、取扱においては安定である。
- 反応性 : 自己反応性はない。
- 避けるべき条件 : 長時間の高温接触を避ける。
- 混触危険物質 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : 高温になると分解し、ガスが発生する。
ガスの主成分は HCl, CO, CO₂ である。
- 難燃性 : 当グレードは酸素指数が 26 を上回るため消防法指定可燃物に該当しな

い。一般に、着火後に外部の火源を取り除けば燃焼を終了するものとみなされる。

11. 有害性情報

| ステアリン酸鉛 | |
|-------------------|--|
| 急性毒性（経口） | 分類できない |
| 急性毒性（経皮） | 分類できない |
| 急性毒性（吸入） | 分類対象外（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト） |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 発がんのおそれ |
| 生殖毒性 | 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 臓器の障害（血液系，神経系，腎臓） |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（血液系，神経系，腎臓） |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

| 三塩基性硫酸鉛 | |
|-------------------|--|
| 急性毒性（経口） | 区分外 |
| 急性毒性（経皮） | 区分外 |
| 急性毒性（吸入） | 分類対象外（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト） |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 発がんのおそれ |
| 生殖毒性 | 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 臓器の障害（血液系，消化器系，神経系，腎臓） |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（血液系，心臓血管系，神経系，腎臓） |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

| フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）（DEHP） | |
|-------------------------|---|
| 急性毒性（経口） | 区分外 |
| 急性毒性（経皮） | 区分外 |
| 急性毒性（吸入） | 分類対象外（気体） 分類できない（蒸気） 区分外（粉じん、ミスト） |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 区分外 |

| フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP) | |
|--------------------------|------------------------------------|
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 眼刺激 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 発がんのおそれの疑い |
| 生殖毒性 | 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 呼吸器への刺激のおそれ |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓, 精巣) |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

| 酸化チタン (IV) | |
|-------------------|--|
| 急性毒性(経口) | 区分外 |
| 急性毒性(経皮) | 区分外 |
| 急性毒性(吸入) | 分類対象外(気体) 分類できない(蒸気) 区分外(粉じん, ミスト) |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 眼刺激 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分外 |
| 発がん性 | 発がんのおそれの疑い |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

12. 環境影響情報

| ステアリン酸鉛 | |
|--------------|--------|
| 水生環境有害性(急性) | 分類できない |
| 水生環境有害性(長期間) | 分類できない |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生体蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | |

| 三塩基性硫酸鉛 | |
|--------------|--------|
| 水生環境有害性(急性) | 分類できない |
| 水生環境有害性(長期間) | 分類できない |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生体蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | 分類できない |

| フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP) | |
|--------------------------|--------------|
| 水生環境有害性(急性) | 水生生物に非常に強い毒性 |

| フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP) | |
|---------------------------|--------------------|
| 水生環境有害性(長期間) | 長期継続的影響によって水生生物に毒性 |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生体蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | 分類できない |

| 酸化チタン (I V) | |
|--------------|--------|
| 水生環境有害性(急性) | 分類できない |
| 水生環境有害性(長期間) | 分類できない |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生体蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | 分類できない |

13. 廃棄上の注意

廃棄するには、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従って処分する。

14. 輸送上の注意

容器の転倒、落下、摩擦等容器の損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国連分類 : 該当しない。

15. 適用法令

- 化審法 : 優先評価化学物質 (法第2条第5項)
- 労働安全衛生法 : 作業環境評価基準 (法第65条の2第1項)
 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
 鉛化合物 (施行令別表第4・鉛中毒予防規則第1条第4号・昭47労働省告示91号)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
 酸化チタン (I V) (政令番号: 191) (5%未満)
 ステアリン酸鉛 (政令番号: 326) (5%未満)
 鉛及びその無機化合物 (政令番号: 411) (5%未満)
 フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (政令番号: 481) (5%未満)
- 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1、施行令第4条)
 鉛化合物 (政令番号: 305) 鉛として(1.8%)

16. その他の情報

- 引用文献 : 伊藤 公正 篇
 「プラスチックデータハンドブック」工業調査会 (1980)
 製品評価技術基盤機構 (NITE) データベース
 [<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/Top.do>]
- 記載内容の取り扱い : 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険、有害性等についてはいかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱い対象としたものでありますので、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。また、本データシートを当社の許可なく外部へ配布等行うことは、ご遠慮頂きたい。

お願い申し上げます。